

9月定例会 一般質問要旨

2次元コードを読み取ると、議員それぞれの全ての質疑の様子をご覧いただけます。



災害時避難行動要支援者の個別避難計画策定について



太田クラブ 神谷 大輔

議員 災害時避難行動要支援者の個別避難計画策定に向けた、これまでの取り組みについて伺います。

福祉こども部長 今年度、関係課による庁内検討会議を開催し、基本的事項の確認を行うとともに、対象者の介護サービスや障がいサービスの利用の有無を照会しています。また、群馬県主催のセミナーに参加し、行政と地域が連携した避難支援体制づくりの必要性を共有しています。今後は、個別避難計画の作成を担う介護支援専門員などが所属する団体や事業所向けの説明会を実施する予定です。

議員 個別避難計画が地域に根付くためには、行政区単位での自主防災組織が必要不可欠と考えますが、立ち上げに係る課題について伺います。

総務部長 令和4年度に各地区の区長に自主防災組織についての考え方を確認したところ、15地区中13地区において、行政区単位での自主防災組織が必要と回答しています。また、課

題としては、人材の育成や確保が挙げられています。

議員 市役所内では全庁的な共有が進んでおり、今後は全市的な対応が必要と考えますが、市長の所見を伺います。



市長 大規模災害の発生時に、自主防災組織が機能し、被害を免れたという事例はあまり聞いたことがなく、自分で命の助かる可能性が高い行動をとる必要があると思います。太田市では、ふれあい相談員が高齢者の置かれている環境を把握していますので、これを十分に活用し、避難を支援すること、非常に良いシステムになるのではないかと考えます。

- その他の質問
- ・鶴生田町のまちづくりについて



おくやみコーナー(窓口)等の開設について



公明党 谷之木 勇作

議員 遺族に対して、必要な手続きの流れや申請先を分かりやすくまとめた、カラーデザインのおくやみハンドブックの発行を要望しますが、所見を伺います。

市民生活部長 カラー版への変更および全面的な改訂を行い、より見やすく分かりやすいものを発行したいと考えます。

議員 死亡に伴う手続きについて、遺族の負担を軽減するために、一カ所の窓口で手続きを行うことができる、ワンストップサービスとして、おくやみコーナーなどの開設を要望しますが、所見を伺います。

市民生活部長 おくやみコーナーなどの開設については、市民の負担を大幅に軽減する取り組みではありますが、一方で複数の組織にまたがる調整が必要なので、今後実現に向けた検討を進めていきたいと思っています。

議員 おくやみコーナーなどの開設や専属の案内役の配置を要望します

が、市長の所見を伺います。

市長 総合案内の強化という方法で対応したいと考えます。現在、2人程度の職員で各種窓口を案内していますが、死亡に伴う手続きについての習熟を図り、拡充していきたいと考えます。事前予約制とすれば非常に分かりやすくなると思いますので、案内係を配置し、必要な窓口へ案内するという形で、まずは検討していきたいと思っています。



- その他の質問
- ・市役所及び公的機関等の窓口キャッシュレス化について
- ・市役所や公的機関等の窓口において、市民の申請手続き等のデジタル化によるサービス向上への取り組みについて



カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みについて



創政クラブ 青木 雅浩

議員 脱炭素のまちづくりに向けた、包括連携協定の概要および具体的な取り組みについて伺います。

産業環境部長 本市、(株)おた電力、太田都市ガス(株)、東京ガス(株)の4者により、低炭素エネルギーの公共施設への提供、防災機能強化などについて、連携を強化するもので、太陽光PPA事業、市庁舎空調設備の省エネルギー化および環境教育など、関係課と連携し、協議を行っています。



議員 公用車におけるハイブリッド車、電気自動車、燃料電池車の導入状況について伺います。

総務部長 令和4年度末の導入状況は、ハイブリッド車4台、電気自動車1

台、燃料電池車はありません。5年度は、電気自動車7台の購入を予定しています。

議員 特別職の公用車に電気自動車を導入することについて、市長の所見を伺います。

市長 一般の公用車に7台の電気自動車を導入し、幅広く普及を図っていきますが、特別職の公用車については今のハイブリッド車で十分であり、現在電気自動車への切り替えは考えていません。

議員 本市を含む4者での包括連携協定を締結し、各種取り組みが推進されていますが、カーボンニュートラルの実現に向けた今後の具体策について、市長の所見を伺います。

市長 現在、市内の学校は全て脱炭素の電力で賄われています。今後はこの取り組みを、市役所をはじめ拡大していくことが大事だと考えます。また、ガスで作る電力も検討されており、カーボンニュートラルの社会に根差した太田市を目指したいと思っています。



公園の利用・活用について



太田クラブ 八長 孝之

議員 公園のトイレは、地域の子どもから高齢者まで、年代を問わず多くの方が利用しています。清掃管理のしやすさなどを考慮し、洋式化をさらに進めてほしいと考えますが、所見を伺います。

行政事業部長 子どもから高齢者まで使いやすく、また衛生的であることを考慮すると、洋式化を推進すべきと考えます。まずは地域からの要望などを調査し、計画的にトイレの洋式化を進めていきたいと考えています。

議員 子どもたちが多く利用する公園や、高齢者が多く利用する公園など、地域性による利用状況の変化を感じています。利用状況や地域の特性など、



目的に合わせた公園づくりを推進することで、存在価値や利用価値が高まると考えますが、市長の所見を伺います。

市長 子どもが多かった時代には、公園は子どもたちによって積極的に利用されていました。その頃と比べ、今は保育園が非常に充実し、日常的に保育園に通い、親は働くようになりました。また、高齢者が非常に増えてきており、状況は様変わりしています。その中で、公園の果たすべき役割を考えると、トイレに注目すべきだと思います。一番肝心なのは高齢者であり、公園に滞在し、グラウンドゴルフなどの活動をしている高齢者が、トイレを利用しやすいような環境づくりは非常に大切だと考えています。利用頻度の高いところや、高齢者が集まるところなど、区長と相談しながら、順次洋式化を進めていきたいと思っています。

- その他の質問
- ・太田駅南口地区市街地総合再生計画について